

経営比較分析表（令和元年度決算）

神奈川県横浜市 市民病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 500床以上 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 34 | 対象 | ド透I未訓ガ | 救臨が感災地 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 3,754,772 | 42,124 | 非該当 | 7：1 | |

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 624 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | 26 | 650 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 624 | - | 624 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値（当該値） |
| — | 類似病院平均値（平均値） |
| 【】 | 令和元年度全国平均 |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

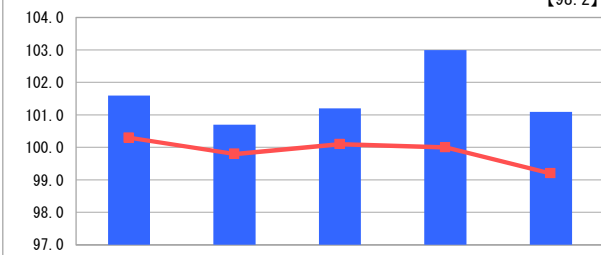
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| - 年度 | - 年度 | - 年度 |

1. 経営の健全性・効率性

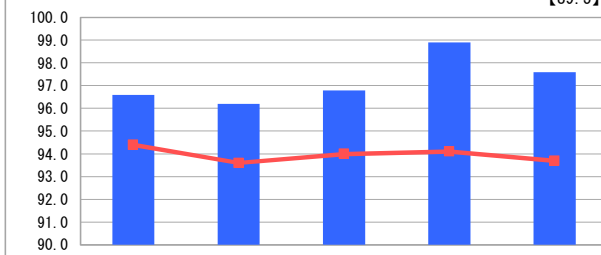
①経常収支比率（%）

【98.2】



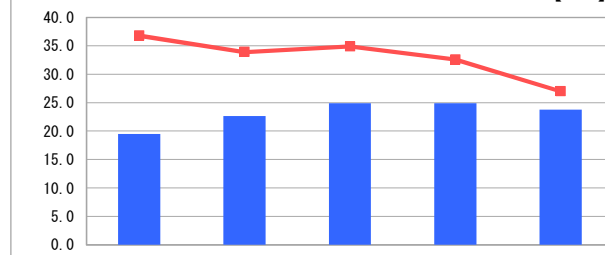
②医業収支比率（%）

【89.5】



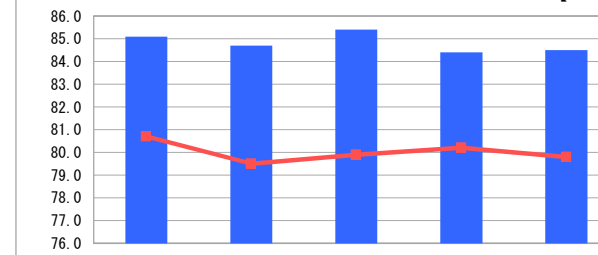
③累積欠損金比率（%）

【59.6】



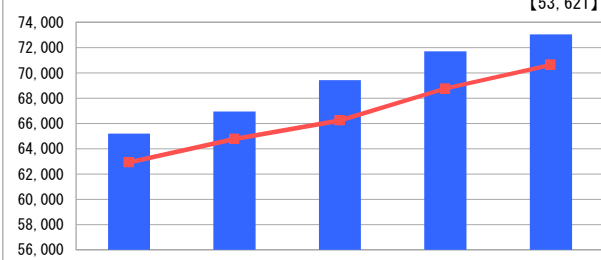
④病床利用率（%）

【74.7】



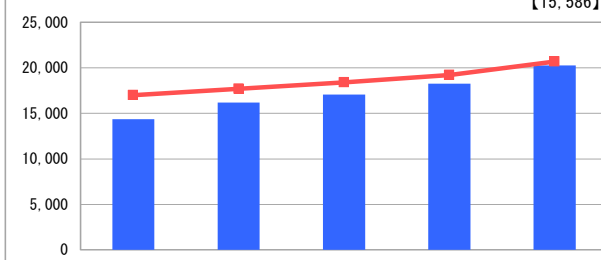
⑤入院患者1人1日当たり収益（円）

【53,621】



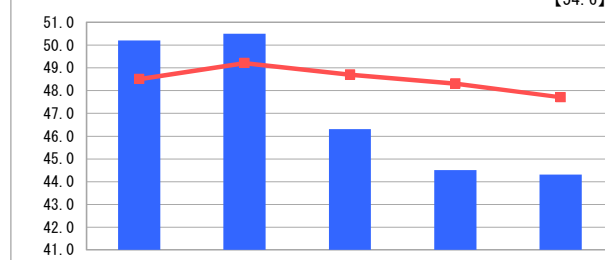
⑥外来患者1人1日当たり収益（円）

【15,586】



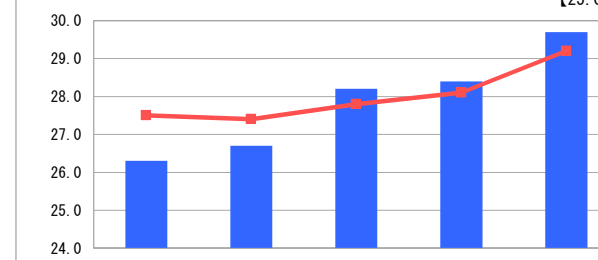
⑦職員給与費対医業収益比率（%）

【54.6】



⑧材料費対医業収益比率（%）

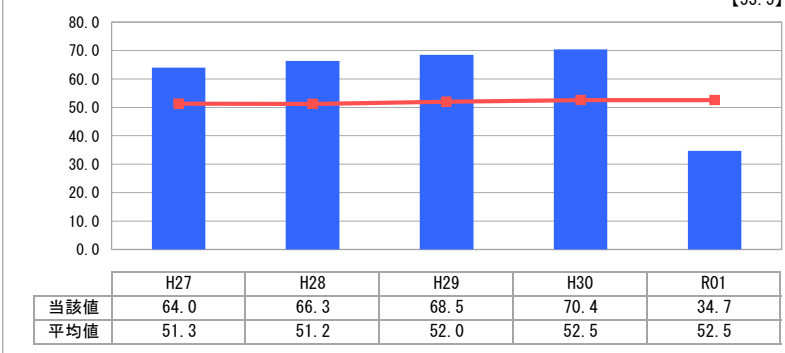
【25.0】



2. 老朽化の状況

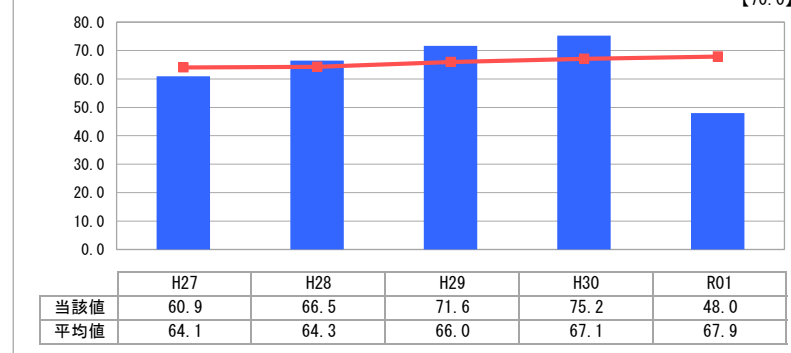
①有形固定資産減価償却率（%）

【53.5】



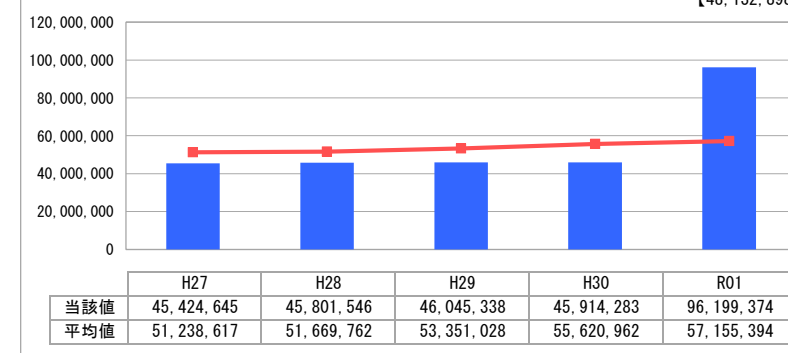
②器械備品減価償却率（%）

【70.0】



③1床当たり有形固定資産（円）

【48,132,898】



I 地域において担っている役割

高度急性期を中心とした総合病院であり、「がん」「救急」「周産期」「感染症」「災害医療」等、地域から必要とされる政策的医療等に積極的に取り組み、地域の基幹病院としての役割を果たします。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医療機能の向上と経営改善の取組を進め、11年連続で経常黒字を達成しています。提供する医療の高度化に伴い、診療単価が上昇していますが、合わせて材料費率も高まっています。そのため、今後も引き続き、一層の医療の効率化や経費の適正化を図ることで、将来に渡って安定した経営基盤を確立していきます。

2. 老朽化の状況について

昭和35年の開院以降、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の充実や施設の増改築を行ってきました。施設の狭隘化や老朽化が著しいため、再整備事業を行い、令和2年5月に新病院を開院しました。

全体総括

今後も一層の医療機能の充実を進めることで新入院患者を確保し、収益力を向上させるほか、材料費等の経費の適正化を図ることなどにより、持続可能な経営を確保します。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。